

## 医学研究センター

## 医学研究センター

片桐 岳信  
(センター長)

## 1. 構成員

## ◇センター長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期: R7.7.31)

## ◇副センター長

小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 副センター長 (任期: R7.3.31)

## ◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 共同利用施設運営部門 (任期: R7.3.31)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究支援管理部門 (任期: R7.3.31)

三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期: R7.3.31)

三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期: R7.3.31)

椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)

## ◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

佐藤 毅 (SATO, Tsuyoshi) : 研究主任部門 (任期: R5.12.31, 交代)

横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) (任期: R7.3.31)

※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)

千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)

村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期: R7.3.31)

奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期: R7.3.31)

森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期: R7.3.31)

西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI分野) (任期: R7.3.31)

徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)

## ◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 毛呂山ランチ担当 (任期: R7.3.31)

山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji) : 総合医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)

※海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 国際医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)

※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 保健医療学部ランチ担当 (任期: R7.3.31)

※は重複構成員…計17名

## ◇オブザーバー

竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長

松下 祥 (MATSUSHITA, Sho) : 副学長

森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 副学長, 医学部長

高橋 健夫 (TAKAHASHI, Takeo) : 副学長

菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師

佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige) : リサーチアドミニストレーションセンター 課長

町田 早苗 (MACHIDA, Sanae) : 医学研究センター 講師

別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教

福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

## ◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐國 真紀 (SAKUNI, Maki) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

## 2. 目的・目標

医学研究センターは、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第2条に則り、本学の医学研究を円滑かつ効果的に行い、教育研究上の目的を達成するための基盤整備を図るとともに、当該研究活動に必要な企画立案、管理運営その他の研究支援を統括・推進し、もって本学の研究活動の質的向上、および研究成果の社会への還元に資することを目的とする。

今年度も、本学の研究活動の向上を目指して、全学的なソフト面とハード面での支援を充実させる。また、リサーチアドミニストレーションセンターと協力し、公的競争的研究資金として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援も充実させる。

医学研究センターの目的を達成するために、以下に示す6つの部門で構成され、各部門が異なる視点から本学の研究を支援する。

- 1) 研究主任部門：基本学科と医学研究センターの情報共有に関わる。
- 2) 共同利用施設運営部門：各種共同利用施設の運営に関わる。
- 3) 研究支援管理部門：外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 4) 安全管理部門：RI、DNA、薬物、環境、動物、感染など、研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門：大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究評価部門：研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

各部門内で会議を適宜開催し、毎月1回、全キャンパス両学部から選出された構成員からなる運営会議を開催して医学研究センター全体の活動を共有している。運営会議の内容は教員代表者会議と保健医療学部教授会で報告され、本学全体に共有される。

## 3. 活動実績

令和5年度は、各部門において以下のような活動を行った（それぞれの詳細は、各部門の活動報告を参照）。

- 1) 研究主任部門：第26回学内グラント成果発表会を令和5年7月14日に開催し、第27回学内グラント成果発表会を令和6年3月22日に開催した。
- 2) 共同利用施設運営部門：共同で利用される実験施設を整備し、令和5年度の利用者登録を管理した。研究機器・備品の整備を行った。共同利用施設運営部門会議と中央研究施設運営会議を開催した。
- 3) 研究支援管理部門：グラント選考委員会、および庶務課と協力し、令和5年度学内グラント選考委員会を開催した。リサーチアドミニストレーションセンターと共に、科研費アドバイザー制度を始めとする科研費申請支援を行った。論文剽窃検知ソフト iThenticate の運用・管理を担当した。
- 4) 安全管理部門：部門内の5分野でそれぞれ活動を行った。DNA分野では、組換えDNA使用実験に関する審査・承認を行うとともに、講習会を実施した。感染分野は、病原性微生物の保有状況の確認、BSL2、BSL3の保有状況の確認を行い、文部科学省へ報告した。また、病原体等取扱申請書を審議し、BSL2とBSL3実験施設の査察を行った。薬物・廃液等環境分野では、令和5年度研究用麻薬・向精神薬に関する調査・報告を行うと共に、実験廃液と廃棄物を専門業者に依頼し処分した。動物分野では、各動物実験施設を管理・運営するとともに、各キャンパスの動物実験小委員会と本学動物実験委員会において、動物実験計画書の審査・承認を行った。RI分野では、令和5年度の新規および継続RI取扱希望者を対象とした教育訓練を実施した。
- 5) フェローシップ部門：2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金を募集・選考し、その結果を上程した。
- 6) 研究評価部門：研究業績データベースシステムを管理・運用し、学内の各部署への情報提供、新世代研究基盤リサーチ

マップ (researchmap) とのデータ交換を行った。令和 6 年 3 月 27 日現在、本システムには医学部と保健医療学部をあわせて 1,427 名の研究者が登録されている。

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和 5 年度も、前年の計画通り、本学の研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指して、全学的なソフト面とハード面での研究支援を実施できた。研究支援管理部門が中心となり、リサーチアドミニストレーションセンターと共同で実施した「科研費アドバイザー制度」により、本学の科研費（文部科学省、日本学術振興会）の新規採択率は順調に全国平均レベルを維持できた。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

本学の研究活動を促進するために、競争的公的研究費として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援（科研費アドバイザー制度）をさらに充実させる。来年度は、大型の科研費獲得者による「科研費申請の工夫点」に関する講習会を計画する。さらに、学内グラント「科研費申請支援」から科研費の獲得につながった研究者を中心とした受賞者成果発表会を開催し、本グラントによる研究の活性化に努める。更に本学の DX 化等を考慮して引き続き zoom 会議を施行する。

## 医学研究センター

## 研究主任部門

海老原 康博  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 海老原康博 (EBIHARA Yasuhiro) : 国際医療センター中央検査部: 教授 (任期: R7.3.31)  
副部門長 下岡聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授 (任期: R7.3.31)  
横田和浩 (YOKOTA Kazuhiro) : 大学病院リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R7.3.31)  
百瀬修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授 (任期: R7.3.31)  
部門員 町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師  
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

## 2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターの密な連絡を保つための活動を行うことを業務としている。研究主任に対して、基本学科の研究の責任者であると同時に研究費を適正に管理・運用する責任者であることも自覚していただき、適正な運用を推進するよう指導する。研究者向けの情報を発信し、研究主任から各所属部署内での周知徹底を依頼する。学内での共同研究が推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。学内グラント成果発表会を2回/年開催し、学内の研究推進を図る。

## 3. 活動実績

## (1) 学内グラント受賞者成果発表会の企画・開催

## ア 第26回学内グラント受賞者成果発表会

2023年7月14日(金曜日) 17:00~18:15

毛呂山キャンパス第3講堂

総合医療センター 管理棟2階 カンファレンス1 (テレビシステム中継)

国際医療センター 教育研究棟 5階会議L-5-2 (テレビシステム中継)

学内LAN ライブ配信

ビデオ収録配信

## 発表内容

演題1: 17:05~ 座長: 加藤 崇央 (医学部 総合医療センター 麻酔科)

松田 祐典 (医学部 総合医療センター 麻酔科)

「帝王切開出産後回復の定量的評価とERAS実施による回復促進効果」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題2: 17:20~ 座長: 前田 卓哉 (医学部 埼玉医科大学病院 臨床検査医学)

今井 孝 (医学部 基礎医学部門 微生物学)

「マラリア感染と小胞体ストレス」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題3: 17:35~ 座長: 安田 重光 (医学部 埼玉医科大学病院 内分泌内科・糖尿病内科)

武者 育麻 (医学部 埼玉医科大学病院 小児科)

「グリコアルブミン/HbA1c比によるヘモグロビン糖化の遺伝的表現型推定法」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題4: 17:50~ 座長: 篠田 裕介 (医学部 埼玉医科大学病院 リハビリテーション科)

佐藤 弘 (医学部 国際医療センター 消化器外科)

「食道がん術後のテーラーメイド医療を目指した長期的リハビリテーションと栄養管理の検討」

(2021年度科研費申請支援・2022年度科研費採択奨励費)

参加人数：合計 91 名

毛呂山キャンパス 25 名  
日高キャンパス 4 名  
川越キャンパス 5 名  
ライブ配信視聴者 38 名  
録画配信視聴者 30 名

#### イ 第 27 回学内グラント受賞者成果発表会

2024 年 3 月 22 日（金曜日）17：00～18：10

毛呂山キャンパス 本部棟 第 3 講堂  
川越キャンパス 管理棟 4 階 会議室 2（テレビシステム中継）  
日高キャンパス 教育研究棟 2 階 会議室 1（テレビシステム中継）  
学内 LAN ライブ配信  
ビデオ収録配信

#### 発表内容

演題 1：17：05～ 座長：横尾 友隆（中央研究施設・日高ランチ 実験動物部門）  
熊谷 恵（医学部 基礎医学部門 生理学）  
「食事時間制限法（TRF）が睥島  $\beta$  細胞の分化・成熟に及ぼす影響と作用機序の解明」  
（2021 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）  
演題 2：17：20～ 座長：岩崎 由希子（医学部 埼玉医科大学病院 緩和医療科）  
相崎 良美（医学部 埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科）  
「NK 細胞と単球細胞の機能解析による成人発症スチル病の病態解明」  
（2022 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）  
演題 3：17：35～ 座長：大間 陽子（医学部 基礎医学部門 教養教育（生物））  
浦西 洸介（医学部 基礎医学部門 ゲノム基礎医学）  
「Mga を足場とした構造的クロマチン形成による減数分裂遺伝子抑制機構の解析」  
（2022 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）

参加人数：合計 92 名

毛呂山キャンパス 32 名  
日高キャンパス 6 名  
川越キャンパス 5 名  
ライブ配信視聴者 48 名  
録画配信視聴者 5 名

## 4. 自己評価と次年度計画

### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

本年度から、学内グラント受賞者成果発表会の発表者は学内グラント受賞により得た資金を使って、翌年以降に科研費を獲得できた発表者に限って発表を行なっている。内容・形式を改善し、科研費を獲得するために工夫した点も含めた発表にすることで、より多くの参加が得られ、活発な討論を展開できるように対策している。また、新型コロナウイルス感染拡大の対応により、会場での参加に加えて、ライブ配信を取り入れて学内グラント成果発表会に参加しやすい環境を取り入れた。この結果徐々に参加者が増加傾向にあると考えられる。ただし、第 27 回学内グラント受賞者成果発表会では通信不良のため 1 演題をキャンセルする不手際があった。この点は反省すべき点である。また、毎月行われている医学研究センター運営会議議事録（抜粋）を各研究主任に送付して情報提供を行なっている。

### 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われている「オール埼玉医大研究の日」とも連携して、学内グラント受賞者成果発表会により多くの参加者が得られるようにさらなる改善を行っていく。

医学研究センター運営会議議事録（抜粋）に限らず、研究主任を通して 3 キャンパス内で行われている研究の内容を学内研究者に情報提供し、共同研究・研究連携を推進する。

次回以降の学内グラント受賞者成果発表会は Zoom を取り入れて開催する。



## 医学研究センター

## 研究支援管理部門

小谷 典弘  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 小谷典弘 (KOTANI Norihiro) : 医学研究センター 生化学: 教授 (任期: R7.3.31)  
副部門長 堀内 大 (HORIUCHI Yutaka) : 医学部 微生物学: 講師 (任期: R7.3.31)  
部門員 森 隆 (MORI Takashi) : 総合医療センター 研究部: 教授  
前田智也 (MAEDA Tomoya) : 国際医療センター 造血器腫瘍科: 准教授  
佐藤 毅 (SATO Tsuyoshi) : 大学病院 歯科・口腔外科: 准教授  
駒形英樹 (KOMAGATA Hideki) : 保健医療学部 臨床工学科: 准教授  
町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師

## 2. 目的・目標

研究マインド醸成, 学内グラント活用, 学外研究費獲得の推進, 研究成果の管理, リサーチアドミニストレーションセンターとの連携による研究倫理の順守呼びかけなどの活動を目的とし, 学内研究者の研究活動の健全な実施をサポートすることを目標とする。

## 3. 活動実績

## ①学内グラントと研究奨励費の助成

2023年度学内グラント募集では, 丸木記念特別賞3件, 科研費申請支援グラント15件, 計18件応募があった。分野別の複数選考委員による予備審査の後, グラント選考委員会が開催され, 丸木記念特別賞1件, 科研費申請支援グラント14件, 計15件の研究テーマが採択された。さらに, 学内グラント採択課題が翌年, 翌々年度に科研費採択(研究テーマが直接関連していることが条件)の場合に対象となる研究奨励費(20万円, 購経由使用, 経費報告書必要なし)が計6件助成された。

## ②科学研究費獲得状況の把握

2023年度の科研費採択結果は, 申請総数157件に対して新規採択42件(採択率26.8%), 採択総額228,150千円であった。申請数・採択率はいずれも去年より若干低い結果となった。

## ③剽窃検知ソフト iThenticate の運用

論文作成では意図せず剽窃とならないように注意が必要である。近年の論文デジタル化とインターネット普及を背景に平成25年施行の博士論文オープンアクセス化(公表義務)に伴って現在までに国内の半数近くの医学部を有する大学に導入されている剽窃検知ソフト iThenticate の運用を, 研究マインド支援グラント(共通部門研究費)を用いて, 平成29年度から30年度にかけて試験的に運用を始めた。現在は, リサーチアドミニストレーションセンターからの申請により, 大学経費からの支出で運用されている。なお, 2019年度から大学院学位審査の際の学位論文の提出にあたって, 本ソフトを使用した検知を実施することが義務化された。

## ④科研費アドバイザー制度

2020年度より, 科研費採択率の向上を目指し, リサーチアドミニストレーションセンターとの共同で, 科研費の全種目を対象とした新しい科研費アドバイザー制度を運用している。2023年度は, 科研費審査委員や大型競争的研究資金獲得経験のある研究者を中心とした41名がアドバイザーとして登録され, 利用者の研究計画調書を個別に添削した。利用件数はのべ49件で, 種目の内訳は若手研究9件, 基盤研究(C)31件, 基盤研究(B)6件, 挑戦的研究(萌芽)1件, 研究活動スタート支援2件であった。

さらに, 片桐センター長を講師として, 「2023年度 科研費研究計画調書の書き方に関する講習会」を企画し, 7月24日に実施した。本webinarの内容は限定公開でYouTube配信を行った。受講者アンケートでは判りやすく役に立ったとの回答を得た。

次年度以降も、より効果的で利用しやすいものを目指して「科研費アドバイザー制度」をブラッシュアップし、本学の科研費採択率向上につなげたい。

#### ⑤悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）への対応

助成を受けた論文に無料アクセスできるようにするべきであるというプラン S 等の国際的な潮流に伴い、著者側が掲載料を支払い読者側は無料アクセスできるオープンアクセス誌が増えているが、誤って悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）に投稿しないように注意が必要である（日本医学会から注意喚起の通達が発行され、日本学術会議において対応策が検討中である）。これに関して、各自確認するように注意喚起を行っている。

### 4. 自己評価と次年度計画

#### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

学内グラントと研究奨励費の助成は、例年通り、問題なく実施された。科研費の申請総数・率、採択率、採択総額の向上を目指して、科研費申請支援グラントでは、助成に加えて科研費アドバイザーによる研究計画調書のブラッシュアップを行うようにした。剽窃検知ソフト iThenticate の本格運用および学位論文等における正式な運用が開始され、使用数も増え、益々重要度が上がっている。悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）への対応については、本学の全教員がその存在を認識し投稿雑誌を再考するきっかけになったと考える。

#### 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

学内グラントに関しては、今後もグラント選考委員会と連携しながら、守秘義務を遵守して公正な選考が継続されるよう努めていきたい。剽窃検知ソフト iThenticate に関しては、大学組織・研究者個人の信用にかかわる重要な問題として、今後も啓蒙活動を継続する予定である。「科研費アドバイザー制度」に関しては、前年度よりも申請数が低下したことから、次年度も引き続き、より効果的で利用しやすいものを目指してブラッシュアップし、本学の科研費申請数・申請率・採択率のさらなる向上につなげたい。

## 医学研究センター

## 共同利用施設運営部門

片桐 岳信  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長：片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 中央研究施設, ゲノム基礎医学：教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部：教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 情報技術支援推進センター：教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：水野 由美 (MIZUNO, Yumi) : 中央研究施設実験動物部門：講師 (任期 R7.3.31)  
部門員：西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 中央研究施設 RI 部門：准教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：水野 洋介 (MIZUNO, Yosuke) : 中央研究施設形態部門：准教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：川野 雅章 (KAWANO, Masaaki) : 中央研究施設機能部門：准教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : 中央研究施設日高ランチ機能部門, RA センター：教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka) : 中央研究施設日高ランチ実験動物部門：准教授 (任期 R7.3.31)  
部門員：廣澤 成美 (HIROSAWA, Narumi) : 中央研究施設機能部門：准教授 (任期 R7.3.31)

◇オブザーバー

坂本 安 (SAKAMOTO, Yasushi) : 客員教授

## 2. 目的・目標

共同利用施設運営部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条(4)に則り、全学的視点で研究体制を整備するとともに、機器材料等の情報を管理することで主として学内における共同研究を推進することを目的とする。

本年度は、設置希望機器リストから新規の機器を導入すると共に、既に設置されている機器を含めてテクニカルセミナーを開催し、施設を利用する研究者に対して研究機器の啓発することを目標として活動した。

## 3. 活動実績

## 1) 部門会議

## (1) 第78回 中央研究施設運営委員会／共同利用施設運営部門合同会議

日時：令和5(2023)年12月18日(月)－12月25日(月) メール会議 出席10人

議事：

- a. 中央研究施設 教員人事に関して (報告議案)
- b. 埼玉医科大学中央研究施設規則の改正に関して (承認議案)  
中央研究施設規則 (ランチ長) 第8条の項目削除が提案された。またこの削除により、必然的に修正されなければならない部分にも修正が加えられた旨説明があり、審議により全会一致で承認された。
- c. 中央研究施設 設置希望機器に関して (承認議案)  
私学助成金等により機器が整備されたことに伴い、中央研究施設 設置希望機器リストを更新した。また今年度より、従来のリストの他に、共同利用機器として設置から概ね10年以上の老朽化した機器、備品についてリスト化し、学内予算により計画的に更新を要望する検討を始めた旨説明があり、審議により全会一致で承認された。
- d. 令和4年度 中央研究施設会計に関して (報告議案)

## (2) 第79回 中央研究施設運営委員会／共同利用施設運営部門合同会議

日時：令和6(2024)年1月24日(水)－1月27日(土) メール会議 出席10人

議事：

- a. 令和6(2024)年度 中央研究施設 人事について (報告議案)
- b. 令和6(2024)年度 共同利用施設運営部門／中央研究施設運営委員会 構成員について (報告議案)



## 2) 共同利用実験室および中央研究施設利用の啓発と整備

共同利用実験室は、実験室を持たない教員に対し最小限の機器を備えた実験場所を提供し、もって当該教員の研究活動のセットアップに資することを目的として、平成24(2012)年9月10日より運用が開始され、現在、基礎医学棟3階ならびにゲノム棟4階に整備されている。それぞれに実験ベンチや基本機器およびフェローステーションが併設されている。

令和5(2023)年度の利用実績は下記の通りであった。

### (1) 共同利用実験室

- a. 毛呂山キャンパス：登録基本学科数11～13学科/月、利用登録者数16～21人/月
- b. 日高キャンパス：登録基本学科数14～17学科/月、利用登録者数29～37人/月

### (2) 中央研究施設

- a. 機能部門：登録基本学科数48～51学科/月、利用登録者数187～201人/月
- b. 形態部門：登録基本学科数46～48学科/月、利用登録者数183～197人/月
- c. 実験動物部門：登録基本学科数44～48学科/月、利用登録者数212～268人/月
- d. RI部門：登録基本学科数9学科/月、利用登録者数17～18人/月
- e. 日高ランチ機能部門：登録基本学科数36～42学科/月、利用登録者数126～138人/月
- f. 日高ランチ実験動物部門：登録基本学科数8～11学科/月、利用登録者数21～30人/月

## 3) 中央研究施設共同利用研究機器・設備整備

### (1) 令和5年度私学助成金

- a. BIO-RAD Bio-Plex200 リプレースシステム【機能部門】
- b. ZEISS 超解像共焦点レーザー顕微鏡 LSM 900 with Airyscan 2【形態部門】

### (2) 研究マインド支援グラント(共通部門)

- a. ラボドラフト【実験動物部門】
- b. 化学物質保管庫、冷凍冷蔵庫及びセフティキャビネット【共用利用実験室(毛呂山および日高キャンパス)】
- c. トミー精工 オートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)【実験動物部門】
- d. 透過照明型実体顕微鏡装置一式【日高ランチ実験動物部門】(9月20日設置)

### (3) 学内予算

- a. 日立アキュフレックスガンマ8001 ARC-8001【RI部門】(12月20日設置)
- b. ベックマン・コールター 高速冷却遠心機 JLA-10.500 (500 mL×6) ロータ【機能部門】(10月25日設置)

## 4) テクニカルセミナーの開催

以下のテクニカルセミナーを開催し、機器の取り扱いおよび新しい研究技術を紹介した。

- (1) 2023/05/15 14:30-15:30 ゲノム棟 StepOnePlus High Resolution Melt Software v3.1 の利用法
- (2) 2023/06/01 14:00-17:00 基礎医学棟3階 島津製作所 MALDI-8030 アプリケーションご紹介及び操作講習会
- (3) 2023/06/08 16:00-17:00 オンライン はじめてのフローサイトメーター (FCM)
- (4) 2023/06/09 16:00-17:00 オンライン はじめてのシングルセル解析
- (5) 2023/06/21 10:00, 13:00, 15:30 (計3回) 基礎医学棟2階 エビデント (オリンパス) SpinSR10 スピニングディスク型共焦点超解像顕微鏡 デモンストレーション
- (6) 2023/08/03 16:00-17:00 オンライン シングルセル解析から紐解く肝疾患 Biology ~細胞の分化異常と肝内免疫環境に注目して~
- (7) 2023/10/20 11:00-17:00 ゲノム棟『Keyence Day』開催のお知らせ ~蛍光顕微鏡活用術 個別相談会~
- (8) 2023/11/17 16:00-17:00 オンライン 遠心機ロータ安全取扱セミナー
- (9) 2024/01/30 13:00-16:00 基礎医学棟3階 BIO-RAD 社 Bio-Plex200 取扱説明会 & 実験相談会
- (10) 2024/03/28 15:00-15:45 オンライン 超解像共焦点レーザー顕微鏡のオンラインセミナー

## 4. 自己評価と次年度計画

### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

今年度の共同利用実験室の利用者数は増加した。中央研究施設の利用に関しては大多数の研究者がすでに登録しており、共通機器を自由に使える状態になっている。今年度は私学助成金2件が採択され、中央研究施設に研究機器が設置された。その他の資金を含めても新たな機器を導入することができた。また、技術セミナーを開催し機器利用の情報を発信することができ、利用者に使いやすい施設運営が出来た。

#### 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

共同利用施設運営部門として、「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン～すべての研究者がいつでもアクセスできる共用システムの構築を目指して～」の策定に基づいた「チーム共用」組織の推進の為に、中央研究施設や総合医療センター研究部、国際医療センター、保健医療学部の情報を共有し、有効な利用法を検討する必要がある。また、RAセンターや各事務部門の連携も強化していく。

現在設置されている機器は、購入から10年以上経過している機器が多く、経年劣化による故障・不具合が多発している。今後の機器選定については慎重に優先順位を決め助成金に申請する必要がある。さらにより使いやすい組織を目指して、ホームページを改訂するなど情報発信を強化していく。

## 医学研究センター

## 安全管理部門

三谷 幸之介  
(部門長)

## 1. 部門構成

部門長 三谷幸之介：医学部 ゲノム応用医学 (教授)

感染分野

副部門長 村上 孝：医学部 微生物学 (教授)

部門員 前田卓哉：大学病院 臨床検査医学 (教授)

堀内 大：医学部 微生物学 (講師)

森 隆：総医セ 研究部 (教授)

光武耕太郎：国医セ 感染症・感染制御科 (教授)

佐藤正夫：保医学部 臨床検査学科 (教授)

河村 亨：大学病院 中央検査部 (課長補佐)

池田和博：医学部 ゲノム応用医学 (准教授)

樽本憲人：大学病院 感染症科・感染制御科 (准教授)

薬物・廃液等環境分野

副部門長 奥田晶彦：医学部 ゲノム基礎医学 (教授)

部門員 森 隆：総医セ 研究部 (教授)

三島和彦：国医セ 脳神経外科 (准教授)

山賀 貴：保医学部 臨床検査学科 (助教)

淡路健雄：薬理学 (准教授)

西本正純：中央研究施設 RI 部門 (准教授)

齋藤健一：総医セ 薬剤部 (次長)

藤原智徳：保医学部 臨床検査学科 (教授)

DNA 分野

部門長 三谷幸之介：医学部 ゲノム応用医学 (教授)

副部門長 千本松孝明：RA センター (教授)

村上 孝：医学部 微生物学 (教授)

部門員 小谷典弘：医学研究センター (教授)

森 隆：総医セ 研究部 (教授)

海老原康博：国医セ 臨床検査医学 (教授)

米田竜馬：医学部 ゲノム応用医学 (講師)

脇田政嘉：保医学部 臨床工学科 (講師)

菅原哲雄：RA センター 知財担当 (講師)

荒木靖人：リウマチ膠原病科 (准教授)

百瀬修二：総医セ 病理部 (教授)

**動物分野**

副部門長 森 隆：総医セ 研究部（教授）  
 部門員 堀内 大：医学部 微生物学（講師）  
 小野川 傑：保医学部 臨床検査学科（教授）  
 横尾友隆：中央研究施設 実験動物部門 日高ブランチ（准教授）

**RI 分野**

副部門長 西本正純：中央研究施設 RI 部門（准教授）  
 部門員 長谷川幸清：国医セ 骨盤腫瘍科（教授）  
 熊倉嘉貴：総医セ 画像診断科・核医学科（教授）  
 茅野秀一：保医学部 臨床検査学科（教授）

**2. 今年度の活動****感染分野**

当分野は本学における病原体等の取扱いに係る安全確保の適正な実施のため、病原性微生物等管理委員会のもとに活動している。令和5年度では、病原体等取扱申請書19件（新規申請5件、継続申請14件）、病原体等移動（受入）申請書4件、病原体等取扱変更申請3件が提出された。これらの申請等に関して、病原性微生物等管理委員会で審議、修正された後、すべて承認された。また、教育訓練受講証明書を8件発行した。R5年度大学院実用実験医学講義（第3回：令和5年5月16日実施にて「バイオセーフティとバイオテロの動向」）を堀内委員（微生物学）が教育訓練を兼ねて担当した。令和5年11月14日に西入間警察署警備課による危険物質等取扱施設基礎調査依頼に対応した。また令和5年12月15日付で内閣官房（文部科学省研究振興局ライフサイエンス生命倫理・安全対策室）から病原性微生物保有状況調査依頼に対応するため、リサーチアドミニストレーションセンターと協力して研究主任宛に各基本学科・部署への調査を実施し、結果を報告した。

**薬物・廃液等環境分野**

薬物分野としての令和5年度における主な活動としては、RAセンターと共に、各基本学科で保管しているリスクアセスメント対象の化学物質の種類・量及びそれら物質の管理状況について情報を収集したことが一番に挙げられる。かつ、RAセンターが中心に進められた各基本学科での化学リスクアセスメントの実施に対しても、当該分野としてできる限りの協力を行った。なお、これらの活動は、労働安全衛生法改訂に対する対応として行ったものである。その他、連年と同様に、研究用に用いられている麻薬及び向精神薬の使用・保管状況について情報を収集した。加えて、麻薬を用いて研究を行っている研究者の中で、当該年度、麻薬研究者免許の有効期限が切れる研究者に対しては、免許更新の希望を確認し、更新のための手続きについてサポートした。廃液等環境分野としての活動については、当該年度においても、各キャンパスにおける担当事務職員と随時連絡をとり、特に問題が起こっていないことを確認した。

**DNA 分野**

令和5年度の遺伝子組換え生物等の使用等における審査申請状況は次の通りである。第二種拡散防止措置申請書（承認36件）、内容変更（承認30件）、教育訓練受講証明書発行（25件）を実施した。また、大学院博士課程共通科目「実用実験医学特別講義」を6月に実施した。課外プログラム等で本学ならびに他大学の学生が組換えDNA実験に従事する場合、教育目的であれば、研究計画に学生を追加しなくても良いこととした。ただし、実験責任者の責任として、研究計画に記載の研究従事者が必ず学生の横について指導をすること、学生に教育訓練の動画を視聴させることを条件とする。また、承認済み実験の遺伝子組換えマウスを別実験で使用する場合、新規申請書に、既承認の承認番号のみを記載するのではなく、そのマウスの飼育（P1A実験）を必ず実験計画の一部として記載することとした。

今後も、審査基準のポイントを明確にすることで、委員会として審査基準のさらなる統一について継続して検討する。

**動物分野**

学内にて実施される全ての動物実験は、各キャンパスに設置されている動物実験小委員会そして埼玉医科大学の動物実験委員会により動物実験計画書の審査・承認が行われている。令和5年度、各キャンパスから提出された動物実験計画書223件〔注意を要する動物実験計画書：組換えDNA実験（P1A実験：75件、P2A実験：8件）、感染実験（ABSL1実験：4件、ABSL2実験：8件、毒物使用実験：17件、RI使用実験：12件）〕、動物実験中間報告書・自己点検票202件、動物実験結果報告書・自己点検票21件、動物実験計画（変更・追加）承認申請書51件、動物実験（終了・中止）報告書21件、実験室設置承認申請書29件について審査を行い承認した。さらに、随時メール審査を開催し、円滑に動物実験計画書、動物実験計画

(変更・追加)承認申請書, 実験室設置承認申請書の審査を行い承認した。様式 8 動物実験の自己点検票と様式 9 実験動物飼養保管状況の自己点検票により, 令和 5 年度の動物実験そして飼養保管状況の自己点検を行った。遺伝子組換え生物等を使用した動物実験は, 組換え DNA 実験安全委員会により第二種使用等拡散防止措置承認申請書の審査・承認が行われた。また, 動物実験等に関する情報公開を外部閲覧可能なホームページ (<http://www.saitama-med.ac.jp/medlinks/animal/index.html>) に行った。

## **RI 分野**

中央研究施設 RI 部門利用者及びゲノム棟動物用 CT 装置利用者の被ばく管理を含めた, 放射線利用に係る安全管理は, 放射線取扱主任者である西本正純, 日詰光治両名によりなされている。令和 5 年度は, 健康被害に連なるような事故はなく, また, 監督官庁へ報告するような施設異常も生じることはなく, 安全管理に問題はなかった。RI 部門には, 令和 5 年度末に法人経費にてガンマカウンターが納入され, RI 使用実験の利便性向上がなされた。加えて動物部門との連携をさらに図ることで, 例えば遺伝子改変マウスを利用した RI 実験などを紹介するなどし, 施設のさらなる利用促進を目指し, 施設の有用性をアピールしていきたいと考えている。



## 医学研究センター

## フェローシップ部門

三輪 尚史  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長	三輪尚史 (MIWA, Naofumi)	: 生理学: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	淡路健雄 (AWAJI, Takeo)	: 薬理学: 准教授 (任期: R7.3.31)
部門員	井上 勉 (INOUE, Tsutomu)	: 大学院腎臓内科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	栗田浩樹 (KURITA, Hiroki)	: 国際医療センター脳神経外科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	小林直樹 (KOBAYASHI, Naoki)	: 保健医療学部・臨床工学科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	高田 綾 (TAKADA, Aya)	: 法医学: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	名越澄子 (NAGOSHI, Sumiko)	: 総合医療センター消化器・肝臓内科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	村上 孝 (MURAKAMI, Takashi)	: 微生物学: 教授 (任期: R7.3.31)

## 2. 目的・目標

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第9条(4)に則り、大学院医学研究科委員会、および医学教育センターと連携のもと、教員以外の研究者の経済的・身分的支援について協議し答申することを活動の中心とする。本目的のために、大学院、リサーチフェロー、および学外からのフェローシップに関与する。

今年度は、「2023年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」受給者の確認と、「2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」の応募と選考、およびその結果を医学研究センター運営会議に上程することを目標として活動した。

## 3. 活動実績

## 1) 部門会議

随時、メール会議を開き、迅速に対応した。

- (1) 第1回 部門会議 (令和5年4月18日(火)～令和5年4月26日(水)): メール会議  
出席8人 欠席0人

オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)

議事: 「令和4年度大学年報原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

- (2) 第2回 部門会議 (令和5年5月16日(火)～令和5年5月24日(水)): メール会議  
出席8人 欠席0人

オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)

議事: 「2024年度の奨学金募集要項の内容の確認」について (議事録有, 運営会議報告)

- (3) 第3回 部門会議 (令和5年11月23日(木)～令和5年11月29日(水)): メール会議  
出席8人 欠席0人

オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)

議事: 「2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金応募者の確認・選考および追加募集」について (議事録有, 運営会議報告)

- (4) 第4回 部門会議 (令和5年12月5日(火)～令和5年12月11日(月)): メール会議  
出席8人 欠席0人

オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)

議事: 「令和6年度事業計画と予算の審議」について (議事録有, 運営会議報告)

- (5) 第5回 部門会議 (令和5年12月13日(水)～令和5年12月18日(月)): メール会議  
出席8人 欠席0人

オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)

議事：「2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の追加募集応募者の確認・選考」について（議事録有，運営会議報告）

(6) 第6回 部門会議（令和5年12月19日（火）～令和5年12月21日（木）：メール会議）

出席8人 欠席0人

オブザーバー（片桐医学研究センター長，庶務課）

議事：「追加応募の締め切り以後の応募の件」について（議事録有，運営会議報告）

## 2) 埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の募集・選考について

「2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を，2023年11月1日（水）から11月10日（金）に募集した。期間中に応募があった1名の資格確認と選考を行った。応募者は，現在，本学大学院に在学中（現在最終学年）で，在留カード資格が「留学」であった。以上より，本奨学金の受給資格に該当するものとし，令和5年12月の医学研究センター運営会議に答申した。

また，上記1名が支給対象となる場合でも，規定に定めた年間4名の上限に達しない。そこで，12月1日（金）から12月11日（月）まで追加募集し，期間中に応募があった1名の資格確認と選考を行った。応募者1名は，2024年3月に来日予定であり，来日後に在留資格を確認し，本学の「専攻生」として登録することを条件とし，受給資格に該当する（条件付き支給者候補者）とした。以上の結果を，令和6年1月の医学研究センター運営会議に答申した。

## 4. 自己評価と次年度計画

### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

前年度の改善計画に基づき，令和5年度も，「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を募集し，厳正・公平な審査を行った。

### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

今年度も，「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」応募者を厳格に審査し，本奨学金が有効に利用できた。来年度も，引き続きこの体制が維持されるよう，早期に募集の準備を整えて厳格な審査を行う。

## 医学研究センター

## 研究評価部門

椎橋 実智男  
(部門長)

研究評価部門の現在の主な活動は、本学独自の研究業績データベースシステム（「研究業績プロ」）の運用による、本学の研究業績のデータベース化、および国立研究開発法人科学技術振興機構（JST：Japan Science and Technology Agency）が運用する「データベース型研究者総覧 researchmap」と連携した研究業績の公開、教員の研究と診療の専門性に関するデータベースの運用、人事考課における研究活動実績登録（研究のポイント制）の実施である。これらを通して、本学の研究活動の発展に寄与すべく活動を続けている。以下に、令和5年度の活動状況を報告する。

## 1 研究業績データベースシステム（「研究業績プロ」）について

## 1) 概要

「研究業績プロ」は、本学独自の研究業績データベースシステムで、本学の全研究者を対象に研究に関わる情報を蓄積し、学内に公開するシステムである。

<https://mrc-gdd.saitama-med.ac.jp/smsap/P300>

（医学研究センターのホームページからもリンクあり）

令和6年3月現在、医学部と保健医療学部をあわせて1,297名の研究者が登録されている。利用（アクセス）の状況を図1に示す。

## 2) 運用の状況（令和5年4月から令和6年3月まで）

- 4月 保健医療学部の教員に対する利用説明会の実施
- 5月 中央研究施設を利用した研究成果のデータの提出
- 6月 国際医療センターへの研究業績の提出
- 7月 人事考課のための研究活動実績登録データダウンロード
- 8月 大学病院への研究業績の提出（特定機能病院）

## 3) researchmap とのデータ交換

researchmap のシステムのバージョンアップに伴い、研究業績データベースシステムを停止することなくデータ交換が可能となったため、令和2年11月より基本的に毎月初旬にデータ交換を実施している。

## 4) 外部データベースからの研究業績の取り込みの検討

MEDLINE や Scopus など、外部データベースの研究業績を本学のシステムの研究業績データベースシステムに取り込むことによる効率化と正確性の向上について検討を行った。令和6年度の実施をめざす。

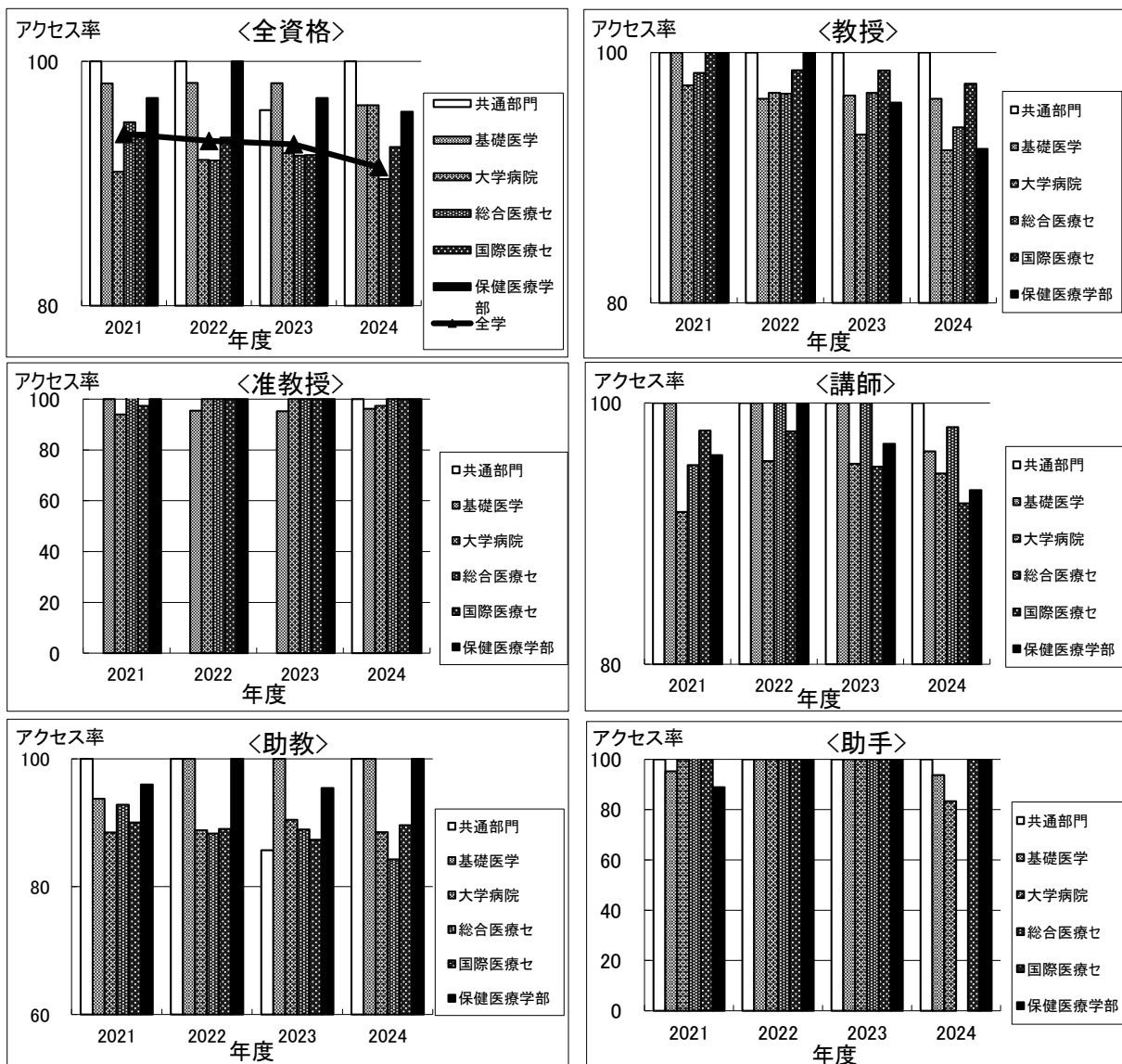
### 研究業績データベースアクセス数(2023/04～2024/03)

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
共通	7	2	4	7	7	27
基礎医学	26	25	26	15	15	107
大学病院	59	37	35	239	5	375
総合医療センター	63	30	53	257	0	403
国際医療センター	78	30	36	147	1	292
保健医療学部	24	16	28	23	2	93
合計	257	140	182	688	30	1297

### 研究業績データベースアクセス率

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
共通	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
基礎医学	96.3	96.2	96.3	100.0	93.8	96.4
大学病院	92.2	97.4	94.6	88.5	83.3	90.4
総合医療センター	94.0	100.0	98.1	84.3	-	88.4
国際医療センター	97.5	100.0	92.3	89.6	100.0	93.0
保健医療学部	92.3	100.0	93.3	100.0	100.0	95.9
合計	94.8	98.6	95.3	87.8	93.8	91.3

2024-4-1現在



\* かわごえクリニックは総合医療センターに含む  
 \* 特任教授は教授に、特任准教授は准教授に、特任講師は講師に含む

図 1.